

平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社菊池製作所

コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊池 功

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 加藤 正博

TEL 042-651-6093

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	2,802	△14.7	51	△80.7	132	△47.9	96	△13.2
24年4月期第2四半期	3,286	—	268	—	253	—	111	—

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 91百万円 (20.5%) 24年4月期第2四半期 76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	26.08	—
24年4月期第2四半期	32.99	—

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を前連結会計年度より行っているため、24年4月期第2四半期の増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第2四半期	7,518	5,214	69.4
24年4月期	7,541	5,196	68.9

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 5,214百万円 24年4月期 5,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 4月期の連結業績予想(平成24年 5月 1日～平成25年 4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,218	△0.9	352	△19.8	577	14.9	355	84.0	96.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期2Q	3,695,900 株	24年4月期	3,695,900 株
② 期末自己株式数	25年4月期2Q	59 株	24年4月期	59 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期2Q	3,695,841 株	24年4月期2Q	3,366,357 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、緩やかな回復の動きが見られた一方で、欧州の債務問題による金融不安や円高の長期化に加え、米国経済の回復遅れ、中国経済の景気減速などもあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製作製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、「一括一貫体制」を強みとしたユニット・装置単位の受注が増加してきております。また、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、アルミホットダイカストやマイクロフローデバイス技術の研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,802百万円(前年同四半期比14.7%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は543百万円(同33.1%減)、営業利益は51百万円(同80.7%減)となりました。以下、東日本大震災にかかる東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、助成金収入等の営業外収益119百万円(同121.2%増)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用39百万円(同42.9%減)を減じた結果として、経常利益は132百万円(同47.9%減)となりました。

東日本大震災にかかる特別利益として、東京電力株式会社からの受取補償金32百万円、また特別損失として投資有価証券評価損4百万円を計上いたしました。これに税金費用63百万円を計上した結果、四半期純利益は96百万円(同13.2%減)となりました。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

①試作・金型事業

事務機器、一眼レフデジタルカメラ等の製品ならびに医療・介護機器の開発が好調である一方、携帯電話、コンパクトデジタルカメラ等への新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も厳しい展開となりました。この結果、売上高は1,911百万円(前年同四半期比5.2%減)、営業利益は30百万円(同64.4%減)となりました。

②量産事業

携帯電話、コンパクトデジタルカメラ等の情報通信機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移した結果、当社業績も低調な推移となりました。この結果、売上高886百万円(前年同四半期比30.1%減)、営業利益22百万円(同87.5%減)となりました。

③その他

ヘルスケア関連製品販売は、売上高は4百万円(前年同四半期比27.1%増)、営業損失1百万円(前年同期は営業損失0百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、7,518百万円となり、前連結会計年度末比22百万円の減少(前連結会計年度末比0.3%減)となりました。うち、流動資産は、3,879百万円となり、前連結会計年度末比166百万円の減少(同4.1%減)となりました。これは、現金及び預金が327百万円減少(同21.2%減)したことが主な要因となっております。固定資産は3,638百万円となり、前連結会計年度末比143百万円の増加(同4.1%増)となりました。

負債合計は、2,303百万円となり、前連結会計年度末比40百万円の減少(前連結会計年度末比1.7%減)となりました。うち、流動負債は、1,826百万円となり、前連結会計年度末比15百万円の減少(同0.8%減)となりました。これは、支払手形及び買掛金が133百万円減少(同18.3%減)したことが主な要因となっております。固定負債は、476百万円となり、前連結会計年度末比25百万円の減少(同5.1%減)となりました。

純資産は、5,214百万円となり、前連結会計年度末比18百万円の増加(同0.3%増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況に関する事項

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、962百万円(前年同四半期比14.3%増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、113百万円の支出超過(同52.2%減)となりました。この主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益160百万円、減価償却費175百万円です。主な支出要因は、売上債権の増加額78百万円、たな卸資産の増加額126百万円、仕入債務の減少額93百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、321百万円の支出超過(同13.8%減)となりました。この主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出318百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、108百万円の収入超過(同41.4%減)となりました。この主な収入要因は、短期借入による収入200百万円です。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出57百万円、配当金の支払額73百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月期の通期業績予想は、平成24年6月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以降取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,002	1,214,646
受取手形及び売掛金	2,043,848	2,120,804
商品及び製品	66,373	146,460
仕掛品	89,044	110,965
原材料及び貯蔵品	102,774	126,651
繰延税金資産	53,972	19,836
その他	149,549	141,963
貸倒引当金	△1,830	△1,870
流動資産合計	4,045,734	3,879,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,068,441	2,071,465
減価償却累計額	△888,661	△925,675
建物及び構築物（純額）	1,179,780	1,145,790
機械装置及び運搬具	1,948,339	2,073,131
減価償却累計額	△1,155,696	△1,260,958
機械装置及び運搬具（純額）	792,642	812,172
土地	972,746	973,783
リース資産	4,489	4,471
減価償却累計額	△3,496	△3,598
リース資産（純額）	993	873
その他	251,148	436,344
減価償却累計額	△211,609	△223,706
その他（純額）	39,538	212,638
有形固定資産合計	2,985,701	3,145,257
無形固定資産		
ソフトウェア	46,346	34,432
その他	5,220	4,974
無形固定資産合計	51,567	39,407
投資その他の資産		
投資有価証券	356,504	346,408
繰延税金資産	6,926	15,806
その他	96,116	96,744
貸倒引当金	△1,431	△4,711
投資その他の資産合計	458,116	454,247
固定資産合計	3,495,386	3,638,912
資産合計	7,541,120	7,518,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 4 月30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年10月31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	729,386	596,047
短期借入金	500,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	85,684	98,244
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	126,701	165,993
未払費用	108,444	92,007
未払法人税等	119,678	53,923
賞与引当金	103,047	56,906
その他	49,300	43,741
流動負債合計	1,842,243	1,826,863
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	165,105	145,183
退職給付引当金	7,219	6,984
役員退職慰労引当金	281,162	286,776
資産除去債務	4,523	4,552
その他	14,361	13,493
固定負債合計	502,372	476,989
負債合計	2,344,615	2,303,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,777,594	4,800,076
自己株式	△52	△52
株主資本合計	5,388,570	5,411,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,919	29,589
為替換算調整勘定	△224,985	△226,124
その他の包括利益累計額合計	△192,065	△196,535
純資産合計	5,196,505	5,214,517
負債純資産合計	7,541,120	7,518,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	3,286,696	2,802,724
売上原価	2,474,220	2,258,854
売上総利益	812,475	543,870
販売費及び一般管理費	543,516	492,082
営業利益	268,958	51,787
営業外収益		
受取利息	213	130
受取配当金	5,028	5,721
助成金収入	10,651	14,349
スクラップ売却収入	25,710	17,232
受取補償金	—	74,632
その他	12,614	7,859
営業外収益合計	54,218	119,926
営業外費用		
支払利息	2,950	4,559
シンジケートローン手数料	6,690	6,524
設備賃借費用	2,304	242
二本松工場遊休賃借費用	16,898	21,768
株式交付費	6,009	—
株式公開費用	31,309	—
その他	3,116	6,434
営業外費用合計	69,278	39,529
経常利益	253,899	132,185
特別利益		
固定資産売却益	11	—
投資有価証券売却益	4	—
受取補償金	—	32,874
特別利益合計	16	32,874
特別損失		
固定資産除却損	4,855	152
投資有価証券評価損	34,350	4,843
東日本大震災関連損失	14,750	—
過年度関税	5,679	—
特別損失合計	59,635	4,996
税金等調整前四半期純利益	194,280	160,063
法人税、住民税及び事業税	85,343	32,395
法人税等調整額	△2,108	31,268
法人税等合計	83,235	63,664
少数株主損益調整前四半期純利益	111,045	96,398
四半期純利益	111,045	96,398

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月 1 日 至 平成23年10月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 5 月 1 日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111,045	96,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,928	△3,330
為替換算調整勘定	△21,799	△1,139
その他の包括利益合計	△34,727	△4,469
四半期包括利益	76,318	91,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,318	91,928
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,280	160,063
減価償却費	159,715	175,649
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	422	3,288
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,630	△46,141
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△421	△357
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,887	5,613
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△22,370	—
受取利息及び受取配当金	△5,241	△5,851
支払利息	2,950	4,559
シンジケートローン手数料	6,690	6,524
株式交付費	6,009	—
株式公開費用	31,309	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	34,350	4,843
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11	—
有形固定資産除却損	4,855	152
売上債権の増減額 (△は増加)	△264,563	△78,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	92,899	△126,188
仕入債務の増減額 (△は減少)	△250,100	△93,196
その他	△66,825	△34,502
小計	△83,798	△24,057
利息及び配当金の受取額	4,407	4,786
利息の支払額	△3,188	△4,356
法人税等の支払額	△154,188	△89,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	△236,768	△113,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	90,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△321,384	△318,111
有形固定資産の売却による収入	20	—
無形固定資産の取得による支出	△10,547	△2,303
投資有価証券の取得による支出	△1,820	△1,710
投資有価証券の売却による収入	5	—
敷金の差入による支出	△30,000	—
その他	—	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373,726	△321,965

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	200,000
長期借入による収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△43,430	△57,362
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
株式の発行による収入	297,591	—
株式公開費用の支出	△25,309	—
配当金の支払額	△33,235	△73,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,616	108,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,543	△1,127
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△432,421	△327,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,274,471	1,289,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,049	962,072

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,016,072	1,267,024	3,599	3,286,696	—	3,286,696
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	749	—	—	749	(749)	—
計	2,016,821	1,267,024	3,599	3,287,445	(749)	3,286,696
セグメント利益又は 損失(△)	84,679	184,477	△329	268,826	131	268,958

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額131千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,911,938	886,212	4,574	2,802,724	—	2,802,724
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	630	—	—	630	(630)	—
計	1,912,568	886,212	4,574	2,803,355	(630)	2,802,724
セグメント利益又は 損失(△)	30,125	22,988	△1,437	51,676	111	51,787

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額111千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。